

## NPO 宮島ネットワーク

### 令和 元年（2019 年） 1 2 月例会（令和元年度・第 4 回）議事録

日時 令和 元年 1 2 月 1 8 日（水）午後 4 時～5 時 4 0 分

場所 宮島商工会館 2 F 会議室

出席者 2 0 名

挨拶 理事長 多くの人の参加があり感謝。来島者も今年は過去最高になる見込み。  
多くの人が来てくれるのは有り難いが、対応を考えなければならない。おもてなしトイレも上下水道代など予算 8 千万円をオーバーしているよう。

#### 議題

##### 1) おもてなしトイレ 2 階の利用について

##### ア) 伝統産業振興会の伝統工芸品作品展(11/06(水)～11/10(日))への協力

- ・ 11/05 設営への協力と、期間中の会場スタッフ配置を NPO が分担。
- ・ 5 日間で 3 5 0 人の来場があった。
- ・ 2 階もトイレ利用の人が多く、なかなか落ちついて見てくれる人は少ない。
- ・ 一階の人は多いが、2 階への誘導案内が難しい。
- ・ 展示作品は触れないが、材料とか作業途中など、来た人が触れる品もほしい。

##### イ) NPO の活動紹介展示について(11/20(水)～11/24(日))

- ・ さくらもみじの会のモミジ樹の世話と、アサリ浜の活動と水害からの復旧を紹介展示した。
- ・ 期間中に問題はなく、展示があったほうが良いとの意見を貰った。
- ・ 2 階に上がる人が少ない。一階に外から見えるようなポスターが掲示できれば効果があるのでは。
- ・ ボードが揺れると写真額が落ちる危険がある。額を架けるフックを固定した。  
ダブルのフックなら落ちないので次からダブルを利用する。
- ・ 会場での準備に予想外に時間がかかった。次回は、現場での作業時間を短くする工夫をする。
- ・ 市役所への申請から許可までに時間がかかった。早めに申請する必要がある。
- ・ あの場所での展示を市が想定してなく、工芸展示と NPO の展示を機会に、対応策を検討したので、時間がかかったよう。今後は改善されるだろう。
- ・ 桜の時期に、サクラ樹の世話の展示を予定。早めに準備したい。

##### 2) アサリ浜育成事業について

- ・ アサリ浜の端のほうにカキが着生し始めている。川水の流入が原因。
- ・ 水害で流れ込んだ泥がまだ改善していない。徐々に改善するだろう。
- ・ 来年には、貝掘り体験学習会を計画して、子供会や公民館に広報したい。
- ・ みやじま未来ミーティング (MMM) 主催のカキの学習会「広島の牡蠣を五感で学

ぼう」を2/01(土)に予定している。

チラシ・申込書を回覧。チラシは、議事録と一緒にメール添付で送信する。  
FAXの人で希望者は今日コピーを持ち帰ってもらいたい。

### 3) さくらもみじの会について

#### ア) 寒肥の施肥の活動

- ・12/05(木)多宝塔付近の施肥を行なった。  
今後の予定：1/18(土)藤の棚・四宮神社周辺、1/30(木)もみじ谷への施肥
- ・1/18 は当初5年を指導してくれた正本良忠先生の命日なので、作業後にしのぶ会を行なう。

#### イ) 活動10年になり記念行事を予定している。

- ・記念誌の発行。1月に発行予定。
- ・1/23(木)に記念講演会を宮島市民センター研修室で行なう。講師は今の指導者正本大先生(良忠先生子息)で、会の10年間にテーマに話してもらおう予定。

### 4) ガイド本「宮島フォトさんぽ」(仮称)について

#### ア) 発行作業

- ・データが印刷所に届いている。1月中には版下ができる予定。
- ・表紙がまだ決まっていない。桜と紅葉の時期の写真が多いことと、宮島らしさを表現する表紙が望ましいが写真1枚では無理。→次回に表紙案を提示。

#### イ) 発行の意図

- ・厳島神社と商店街に集中する観光客の分散を計り、他の見所やルートを紹介する。弥山登山は取り上げない、これまで紹介されていないルートを歩くガイド本。

#### ウ) 厳島神社の承認と今後

- ・完成形に近い案を提出して、肖像権がある神社・大鳥居・五重塔が写っている写真の使用料を払う。写真点数・発行部数などで金額が違う。予測は難しいが数万円か? 写真の差し替え希望が出ることもある。1ヵ月位の期間が必要。
- ・桜の時期に合わせた発行をめざすには、協議できるのは1月の例会が最後。

### 5) 今年度の鹿頭数調査の速報集計

- ・A4 プリントを配布、2000年～2019年の頭数記録、今年は389頭、昨年+3頭。
- ・人の生活圏の5ゾーンにいる人慣れたシカの頭数を、オス・メス・子どもに分けて数える。
- ・栈橋周辺など観光客が目にするシカは減っているが、包ガ浦、網の浦などにシカの集団ができている。
- ・詳しい分析と確定値の結果は、後日に届く。結果は廿日市市にも提供する。
- ・毎年11月23日に実施したが、20年続けた調査を今年度で終わりにする。このように長い動物調査は他にない。
- ・宮島ユネスコ協会の事務局の人が代わった。

#### 意見

- ・今後は、3年に1度とか、継続が必要ではないか。

- ・市のシカ対策協議会も、この資料を利用している。他に資料はなく、毎年会議をしても何も決まらない。
  - ・今後の調査が必要なら、市が方針を出し、費用も負担すべきでは。
- 6) 英語案内フリーペーパー『Miyajima Live』『Hiroshima live』各 vol.18 を配布
- 7) 自由意見
- (略)
- 8) その他
- ・オブザーバー参加者が自己紹介。宮島に住居を移し来年から事業を始める予定。

会議後に会場を変えて忘年会（懇親会）を行なった。29人が参加。